

平成29年度入試（推薦入試Ⅰ）試験問題

小論文（出題意図）

《教育学部 学校教育課程Ⅱ類》

問題文は、高野陽太郎著『鏡の中のミステリー』（1997年、岩波書店）の冒頭部分である。鏡に映ると左右は逆になる「鏡映反転」の「謎」の説明である。何が「謎」なのかを明確にし、人類が鏡像に出会ってから今日に至るまで謎が解明できていないことに注目している。

その文章を正確に読み取り、それに対する自分の考えを適確に表現できる能力を評価する。特に、読解した内容を定められた文字数内で適切に表現しているか、それに齟齬せず自分の意見が述べられているか、十分な文章表現能力が認められるか、の3点を重視する。